

児童図書室だより

No. 116(2021. 7)

～よんでみませんか 児童図書室がえらんだ本～



絵
本



ママ、もうねるじかんだよ

ヒリット・ブルーム 文
ヴァリ・ミンツイ 絵
もたい なつう 訳
光村教育図書 2021.2
(資料ID:1111846650)

夜です。アマリアはごきげんななめ、まだねたくありません。走りまわるアマリアを追いかけたママは、ためいきをついてソファでひと休み。アマリアがもうふを持っていくと、ママはすうすうねいきをたてはじめました。

だんだんだんだん

たけがみ たえ 作・絵
ひさかたチャイルド 2021.5
(資料ID: 1111864238)



よっちゃんはおじいちゃんと夜のおさんぽに出かけます。さんぽの前におじいちゃんが小さなびんをくれたけど、なにを入れるのかな？歩いていくと、家がだんだん離れていき、空がだんだん夜の色になっていきます。すっかり暗くなったころ、到着したのはただの田んぼ。でもそこには…。

愛知県図書館児童図書室のご案内

(電話 052-212-2323)

開館時間……火曜日～日曜日 10:00～18:00

休館日……月曜日・第2木曜日

その他、図書館カレンダーをご確認ください。



すきなことにかてなこと

新井 洋行 作
嶽 まいこ 絵
くもん出版 2021.2
(資料 ID: 1111839253)

ぼくはスポーツが大好き。だけど、みんなの前で話すのは苦手。そんなときは、話すのが大好きなりんちゃんと一緒に発表してくれます。人それぞれ、好きなことがある。人それぞれ、苦手なことがある。きみの好きなこと、苦手なことはなんですか？

はくさいぼうやと ねずみくん

堀米 薫 ぶん
こがしわ かおり 絵
新日本出版社 2021.4
(資料 ID: 1111862242)



ねずみくんはいつも一人ぼっち。ある日、おなかがすいたねずみくんは畑に行きました。すると、元気なはくさいぼうやから「ともだちになってくれる？」ときかれ、思わず「うん」といってしまいます。ねずみくんは、はくさいぼうやから「はじめてであったものはなし」を聞くのが楽しみになります。



もふもふちゃん
ひらぎ みつえ 作
岩崎書店 2021.2
(資料 ID: 1111852101)



いえのなかといえのそとで
レウイン・ファム さく
横山 和江 やく
廣済堂あかつき 2021.3
(資料 ID: 1111852792)



はからはじまる カルシウムの はなし

伊沢 尚子 作
ダイスケ・ホンゴリアン 絵
福音館書店 2021.2
(資料 ID: 1111842114)

男の子が抜けた歯を土にうめました。土の中の歯からカルシウムが飛び出すと、コマツナの根っこに吸い込まれ、葉に到着。そこからカタツムリの殻、マイマイカブリ、ブナの葉…どんどんカルシウムのいる場所が移っていきます。

二平方メートルの世界で

前田 海音 文
はた こうしろう 絵
小学館 2021.4
(資料 ID: 1111859425)



病気で入退院を繰り返している少女。入院すると、縦2メートル、幅1メートルの病院のベッドでの生活が続きます。ある日ベッドの足元のテーブルの裏に、あるものを見つけます。それは…。病気と闘う札幌の小学生が書いた作文をもとにした絵本です。



あいえない!
エリック・カール 作
アーサー・ビナード 訳
借成社 2021.4
(資料 ID: 1111850804)



ぼくはひとりて
フン・グエン・クアン作・絵
フィン・キム・リエン作・絵
ダフネ・リー原書編集
富山房インターナショナル 2021.4
(資料 ID: 1111857153)

【小低〜小中】



ひかる石のおはなし

小手毬 るい 作
酒井 以 絵
あかね書房 2021.3

(J913-コテ-1111852809)

ママの死を知ってから、ショックで言葉をなくしてしまった小学生の楓。ある日、学校からの帰り道で光る石を見つけます。その石から話しかけられた楓は、家に持ち帰って石に話しかけるようになります。あるとき、石に話しかけているところをパパに見つかってしまいます。するとパパは、石についてのふしぎな話を聞かせてくれて…。

細菌ラボ 感染症とたたかう研究所

リチャード・プラット 文
ジョン・ケリー 絵
竹内 薫 訳・監修
小学館 2021.2

(J493-フア-1111839351)



【小中〜小高】

新しい病気はひっきりなしにあらわれ、制圧できたと思っていた古い病気は舞い戻ってきて、わたしたちの健康をおびやかしています。恐ろしい病気の研究所「細菌ラボ」で働くイエネズミ教授や助手たちが、病気を広める細菌やウイルスの正体、過去から現在までのさまざまな感染症と病原微生物、細菌研究の進歩、予防的治療法の開発などを紹介します。

【小中〜小高】



桃太郎は盗人なのか？

「桃太郎」から考える鬼の正体

倉持 よつば 著
新日本出版社 2019.9

(J388-ケア-1111857761)

とある桃太郎の本の帯に書いてあった「鬼だから殺してもいい？」「あなたはどう思いますか？」という言葉を見て、桃太郎こそが悪者ではないかと衝撃を受けた著者。桃太郎の物語に疑問を持つようになり、夏休みの宿題で全国の桃太郎のお話を読み比べることにしました。第22回「図書館を使った調べる学習コンクール」文部科学大臣賞を受賞した作品の単行本化です。

お話のたきぎをあつめる人 魔法の図書館の物語

ローレンティン妃 作
パウル・ヴァン・ローン 作
西村 由美 訳
徳間書店 2021.4

(J949-ロレ-1111859381)



【小低〜小中】

ステラは森の中でカワッテールおじいちゃんと二人暮らし。ある日、持っていた唯一の本が壊れたことがきっかけで、誰もいないお城の中にある「お話の図書室」を探しに行きます。お城の中にはたくさんの扉があり、どれが図書館への扉なのかわかりません。ようやくたどりついた図書館は、無数のお話が読んでもらうのを待っている、ふしぎな図書館でした。ステラは物語を自分だけで楽しむだけでなく、村の人たちにお話を語るようになります。しかし、物語を憎む魔女が呪いをかけてしまい…。

ものがたり・ふしぎの本

【小中〜小高】



サイコーの通知表

工藤 純子 著
講談社 2021.3

(J913-外-1111849044)

「よくできる」「できる」「もうすこし」。通知表は、この3つのどれかで評価されます。でも朝陽の通知表は、1年生のときからずっと「できる」だけ。なんだか普通の人間だって言われているようで、コンプレックスを感じています。クラスの子たちも、通知表なんてなくていいと思っています。そんなときお父さんから、会社では部下が上司の成績をつける、という話を聞いて、朝陽たちは担任の先生の通知表をつけることにしました。

さいごのゆうれい

斉藤 倫 著
西村 ツチカ 画
福音館書店 2021.4

(J913-サイ-1111857117)



【小中】

世界中が「かなしみ」や「こうかい」を忘れて、だれもが幸せだった〈大幸福じだい〉と呼ばれた時代。小学5年生のハジメは、夏休みに田舎のおばあちゃんちに預けられました。「お盆」の最初の日に、ハジメは小さな女の子のゆうれい・ネムに出会います。ネムは自分がゆうれいの最後の一人かもしれないといいます。そして、生きていく人々にゆうれいの存在を思い出してもらうために、この町でひと騒ぎ起こすことが、自分がこちらの世界にやってきた目的だといいます。

【小高】



池田菊苗 うま味の素「グルタミン酸」発見

清水 洋美文
里見 和彦 絵
汐文社 2021.3

(J289-イケ-1111850573)

池田菊苗は「日本の十大発明」の一つといわれる「うま味」成分・L-グルタミン酸ナトリウムを発見した研究者です。ドイツへの留学経験を経て、「日本人の栄養状態を改善したい」と願うようになった菊苗は、昆布の味にふれたときにひらめきます。4つの基本味である甘味・塩味・酸味・苦味とはちがう、もう一つの味があるのではないかと。そして、うま味の重要な成分グルタミン酸を発見したのです。

ものがたり・ちしせの本

夜明けをつれてくる犬

吉田 桃子 著
Naffy 装画
講談社 2021.4

(J913-ヨシ-1111862144)



【小高】

人とうまく話せず、友だちがいない小学5年生の美咲。唯一の友だちだった飼犬・レオンの死をなかなか乗り越えられずにいたある日、通学路のお花屋さんで、レオンそっくりの犬を見つけます。家族が新しい犬を飼いたがっていると知った美咲は、お花屋さんに行き、お姉さんが飼っているレオンそっくりの犬・ピリーが欲しいと身振りでも伝えます。ピリーは大切な家族だからあげられない、とお姉さんに言われた美咲は、自分はなんてことをしてしまったのだろうと後悔し…。